

【学習会】

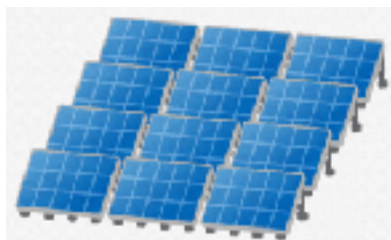
再生可能エネルギー推進の実態



—環境破壊と原発再稼働

自然豊かな森林伐採と引き換えの再エネ事業による被害、次期エネルギー計画において再エネ推進とセットで画策される原発再稼働について学びます。

『化石燃料から再エネにシフト』が全世界の共通認識の今。日本政府も2050年電源構成のなんと6割を再エネ由来の発電にすると報道されたばかり。この狭い国土で6割を実現するには、「森林」を活用するしかありません。小泉環境大臣が国立公園での再エネ建設に規制緩和の方針を示すなど、地球に優しいはずの再エネの、もう一つの「顔」が見えてきています。再エネは気候危機の救世主となるのか。そして、原発に代わる主要電源となるのか。その実態と制度を学び、森林を伐採して建てられる再エネの真価について考察します。



◆日時：2021年1月24日（日）13：30～15：30

◆場所：石狩市花川北コミュニティセンター2階

会議室B・C（石狩市花川北3条2丁目 ☎ 0133-74-6525）

◆講師：佐々木邦夫氏（風力発電の真実を知る会代表）

◆費用：500円（資料代ほか） ※マスクの着用をお願いします。

主催・問合せ 石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会 安田 ☎ 090・6211・1602

<http://windturbine.lbcc-alumni.jp/index.shtml>

<2月学習会のお知らせ>

「風力発電が気象・海象に与える影響—風・気温・潮流が変わる」

風力発電では風を電気に変換します。風力発電で膨大な発電量を得ようとするときの気象や海洋への影響について考えてみます。

日時：2021年2月27日（土）13:30～15:30

場所：石狩市花川北コミュニティセンター

講師：河野時廣氏（東海大学生物学部海洋生物学科教授）

費用：500円（資料代ほか）

